



JSTE 第6回

TOP・TOE継続研鑽(CPD)認定プログラム(聴講：A01.(2) 4H単位, 発表：A04.(1)20N単位)
交通工学研究会は建設系CPD協議会に加盟しています

JSTE シンポジウム(福井)

JSTEシンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会の講習会やセミナー、ミニシンポジウム、開催地およびスポンサー企業の企画を併せ持ち、一度に様々な体験が可能な、いわば交通工学のショーケース的な位置づけのイベントです。

毎年11～12月頃に全国各地で巡回開催しており、第6回となる今回は、福井での会場参加とオンライン参加を選択できる方法で開催予定です。

本シンポジウムは、交通工学に関わる最新の技術動向について情報を得ることができ、交通工学に携わる技術者や行政担当者のネットワークを拡げる格好の機会です。研究者のみならず、実務に携わる方々の参加を特に歓迎します。お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

交通工学に関する最新技術・情報のショーケース

- ・ 交通工学研究会の各種委員会、開催地、スポンサー企業の企画セッションが一堂に集結!
- ・ 講習会、セミナー、シンポジウム等のイベントを一度に体験できます!
- ・ 業務でお悩みのことはありませんか? 交通工学の専門家・技術者と直接話をするのできるチャンスです。
- ・ 交通工学研究会発行の各種出版物のオンサイト販売も行います。

■日時：2024年11月28日(木)・29日(金)

■会場：フェニックス・プラザ

〒910-0018 福井県福井市田原1-13-6 <https://fukui-phoenixplaza.jp/>

※会場参加とオンライン参加(Zoom)のハイブリッド開催を予定

■申込み方法

申込みは、[交通工学研究会ウェブサイト](https://www.jste.or.jp/research_activities/jste-symposium/)のJSTEシンポジウムに関する情報

(https://www.jste.or.jp/research_activities/jste-symposium/)の参加申込リンクからの事前申込をお願いします。

プログラム・開催方法の詳細やキャンセル、悪天候時の対応、その他注意事項などについて、交通工学研究会のウェブサイトにて、情報を随時更新して参りますのでご参照下さい。

■参加費：登壇者、聴講者 共通 (消費税 10%を含む)

① 早期割引申込 11月14日(木)まで (早期割引入金期限 11月18日(月))

正会員 9,900円、特別会員 12,540円、非会員 18,480円、学生無料

② 11月15日(金)以降 (支払い方法はクレジット決裁に限ります。)

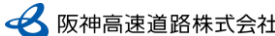
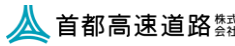
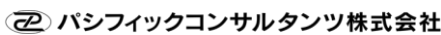
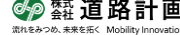
正会員 13,200円、特別会員 15,840円、非会員 21,780円、学生無料

※交流会会費は、上記の参加費には含まれません。参加を希望される方は、事前に、交通工学研究会ウェブサイトのイベント一覧からお申込みください。

■主催：一般社団法人 交通工学研究会

■後援：国土交通省、警察庁、福井県、一般社団法人 建設コンサルタンツ協会

■スポンサー企業 (区分-順不同)：



一般社団法人 交通工学研究会

<https://www.jste.or.jp/>

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23

■プログラム ※プログラムは変更する場合があります。詳細は、交通工学研究会ウェブサイトをご参照下さい。

地元特別セッション 国土交通省・警察セッション スポンサーセッション 委員会・研究Gセッション 若手技術者・技術紹介セッション ランチョンセッション

第1日目 (11/28)			
時刻	第1会場 (2F)	第2会場 (3F)	第3会場 (BF)
9:30 ~ 11:10	A-1 地元特別セッション 大規模自然災害時における交通マネジメント 川本義海 (福井大学)	A-2 (株)長大 地方部のモビリティ確保に向けて ~公共ライドシェアやぶぐるを参考に~ 内海泰輔 ((株)長大)	A-3 子どもの安全で健やかな移動のあり方と 道路・交通マネジメントに関する研究 どうする? 通学路点検におけるデータの取得・整理・活用 松尾幸二郎 (豊橋技術科学大学)
全体セッション <第1会場>			
11:25 ~ 12:55	・会長挨拶: 交通工学研究会会長 名古屋大学大学院 教授 中村 英樹 ・国土交通省による話題提供・警察庁による話題提供 ・第27回交通工学研究会技術賞 記念発表「全車向軌跡データ(ZTD)の概要および渋滞分析の実例」 ・開催地挨拶: 福井大学大学院 教授 川本 義海		
13:10 ~ 14:10		B-2 若手技術者発表セッション① 若手技術者が考える次世代の交通渋滞対策・TDM 吉井稔雄 (北海道大学)	B-3 技術紹介セッション① コンサルセッション: コンサルタントの最新技術
14:25 ~ 16:05	C-1 国土交通省セッション 道路計画に関わる最近の話題 ~①道路計画論の 再構築 ②道路行政に関する研究開発~ 廣瀬健二郎 (国土交通省)	C-2 高速道路単路部の渋滞現象記述理論の実務への応用 理論を使うと見えてきた! ドライバーの知覚を 刺激する渋滞対策の効果とは? 和田健太郎 (筑波大学)・甲斐慎一郎 ((株)ITL)	C-3 生活道路に関する検討小委員会 今こそ、生活道路のゾーン対策を考えよう! ~生活道路の法定速度 30 キロをふまえて~ 寺内義典 (国土館大学)
16:20 ~ 18:00	D-1 警察庁セッション 道路交通に関する警察の取組 ~道路交通法令、交通管制、自動運転~ 大口敬 (東京大学)	D-2 (株)福山コンサルタント 複合都市再生事業における 工事中交通マネジメント 末成浩嗣 ((株)福山コンサルタント)	D-3 高速道路の案内標識体系の再構築に関する研究 わが国の高速道路の案内標識体系の現状と今後 —挙動分析に基づく交通流への影響評価— 鈴木弘司 (名古屋工業大学)
18:30 ~20:00	交流会 (会場:BF、事前申込制)		

第2日目 (11/29)			
時刻	第1会場 (2F)	第2会場 (3F)	第3会場 (BF)
9:20 ~ 11:00	E-1 高速道路会社セッション 高速道路における逆走事象および歩行者等の 誤進入とそれらへの対策 下川澄雄 (日本大学)	E-2 (株)片平新日本技研 道路交通分野における DX 技術活用の課題と可能性 ~若手技術者の悩みを共に考える~ 山岡業由 ((株)片平新日本技研)	E-3 道路安全診断小委員会 道路安全診断の専門家の確保と育成にむけて —日本交通心理学会との連携の可能性— 小早川悟 (日本大学)
11:15 ~ 12:55	F-1 道路の交通容量とサービスの質に関する研究 道路交通サービスの質の向上に向けて 内海泰輔 ((株)長大)	F-2 セフテック(株) マイクロ波センサーが解き明かす交通流とデジタル ツインによる道路交通の未来 鈴木道弘 (セフテック(株))	F-3 (株)建設技術研究所 観光におけるモータルコネクト 吉岡正樹 ((株)建設技術研究所)
13:10 ~ 14:10	G-1 資格委員会・交通技術研究小委員会・交通工学 ハンドブック改訂小委員会 交通工学資格取得の 意味と取得までの学習過程の再構築 深井靖史 ((株)道路計画)	G-2 若手技術者発表セッション② 若手技術者必須のスキルか? 交通シミュレーション 西内裕晶 (高知工科大学)	G-3 技術紹介セッション② ソリューションセッション: データやセンサー、情報発信等の最新技術
14:25 ~ 16:05	H-1 平面交差の計画・設計・制御の研究 「飽和交通流率は実測が原則!」と言われても… 小根山裕之 (東京立大学)	H-2 (株)道路計画 The Live!画像処理を用いた車両挙動分析の 最前線 大宮博之 ((株)道路計画)	H-3 八千代エンジニアリング(株) 新幹線敦賀開業を迎えた嶺南地域と公共交通等の これからの取り組み 三上和宏 (八千代エンジニアリング(株))
16:20 ~ 18:00	I-1 ラウンドアバウトの計画・設計・交通運用に関する研究 日本のシームレスなネットワークとサービス向上 に向けてのラウンドアバウトの可能性 ~「WISENET2050」での位置づけと活用促進への道すじ~ 阿部義典 (国際航業(株))	I-2 パシフィックコンサルタンツ(株) アクティビティベースドシミュレーションと まちづくり ~計画と実務をどうつなぐか~ カ石真 (広島大学)	I-3 (株)オリエンタルコンサルタンツ 自動運転の社会実装を踏まえた今後の課題と 留意点 Part6 堀康博(立命館大学)・神戸信人(株)オリエンタルコンサルタンツ)

**地元特別
セッション**

■A-1



**スポンサード
セッション**

ブース展示
@3Fギャラリー

■A-2



■D-2



■E-1



■E-2



■F-2



■F-3



■H-2



■H-3



■I-2



■I-3



**委員会・
研究グループ
セッション**

■A-3



■C-2



■C-3



■D-3



■E-3



■F-1



■G-1



■H-1



■I-1

